

国連大学／ユネスコ国際会議

「共通の未来へ向かう道

- グローバル化した世界における高等教育の役割の変化」

文部科学省 木曾 功 国際統括官 ご挨拶

平成19年8月29日

於 国連大学

ヒンケル国連大学長、松浦ユネスコ事務局長、ご来賓・ご来場のみなさま、文部科学省を代表して一言ご挨拶申し上げます。

本日ここに、国連大学とユネスコの共催による「共通の未来へ向かう道 - グローバル化した世界における高等教育の役割の変化」をテーマとする国際会議が開催されますことを心からお祝い申し上げます。

グローバリゼーションは、近年、最も議論がなされているテーマの1つであると思います。グローバリゼーションが急速に進んだことで、我々を取り巻く社会には大きな変化がもたらされました。情報は瞬時に地球の裏側へ伝わるようになり、我々は、遠く離れた国に住む人々の生活や出来事を自宅にいながら知るようになりました。また、国境を越えた文化や価値観の相互交流がさらに進んだことによって、異なる言語、社会、文化、宗教を持つ国々への関心を高め、より多くの新しい知識や経験を獲得することが可能となりました。

しかし一方で、グローバリゼーションにより、我々は今まで遭遇したことのない課題に直面しています。文明間の対話にどのように取り組んでいくか、国境を超えた地球規模の問題にどのように対処すべきかなど、簡単には解決策を見だし難い課題について、自分たち自身の問題として、我々が共に考えていく必要性が出てまいりました。

グローバリゼーションによってもたらされた変化を受け、高等教育機関に求められる役割も変化しました。各高等教育機関は、これまで以上に教育研究分野における国・地域を越えた相互交流、相互協力を促進し、様々な問題、課題の解決に取り組み、世界に貢献することが期待されるようになりました。また、その期待に十分に答えていくため、各高等教育機関は、国・文化の相違による問題意識、価値観の違いを理解した上で、国際的に協力した問題解決能力を高めていく必要性が出てまいりました。

このような状況にある高等教育機関を支援するため、文部科学省では、「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」を行っております。その一環として、「大学教育の国際化推進プログラム」や「グローバルCOEプログラム」といった取り組みにより、学生や教職員の海外派遣事業の支援のほか、海外の大学等との国際連携による教育研究促進のための支援、そして、世界的に卓越した教育研究拠点形成のための支援を行っております。こうした支援によって、日本の各大学がそれぞれの特色を生かした教育研究を展開し、国際化を進め、国際競争力を強化していくことを目指しております。

最後になりましたが、教育、科学および文化を通じて諸国家間の協力を促進することにより、世界の平和および安全に貢献することを目的とするユネスコと、緊急かつ地球規模の問題解決の努力に、学術研究と能力育成をもって地球規模の問題解決に寄与することを目的とする国連大学が、共同でこのような国際会議を開催することは、大きな価値のあるものであります。

この会議が大変意義深く重要なものとなることを心からお祈りいたしますとともに、開催に尽力された国連大学、ユネスコ、および関係のみなさまへの感謝の意を表し、私の挨拶とさせていただきます。

文部科学省 国際統括官 木曾 功